

世界・アジア大会派遣標準記録と選考基準

派遣標準記録

世界大会派遣標準記録は、世界選手権では自身が出場した選考競技会にて、その選考競技会に出場する時の標準記録とする。

アジア選手権では、自身が出場した選考競技会にて、その選考競技会に出場する時の一つ下の階級の標準記録とする。一番軽い階級の時は、パワーは 20 kg マイナス、ベンチは 10 k g マイナスとする。

選考基準

世界選手権は、どのカテゴリーも、1 位から 3 位までを選考対象とする。

アジア選手権は、どのカテゴリーも、アジア大会派遣標準記録突破者が選考対象とする。アジア・オセアニア選手権も同様とする。

その他の国際親善大会はその都度別途定める。

今回のジャパクラシックマスターズパワーの選考大会は以下のとおり。

2019 年 3 月 12-17 日	アジア・オセアニアクラシックパワー	オーストラリア
2019 年 6 月 3 日-15 日	世界クラシックパワー	スウェーデン
2019 年 12 月 4-8 日	アジアクラシックパワー	オマーン

出場優先順位

出場できる選手数は、各階級に一つずつなので、
一般・マスターズ 男子 8 名、女子 7 名
サブジュニア・ジュニア 男子 9 名、女子 8 名である。

各階級とも優勝者を出場優先順位第 1 位とする。

辞退が出た場合、辞退者が出た階級の 2 位の選手を繰り上げる。
繰り上がった選手も辞退すれば、それ以外の各階級の 2 位の選手でフォーミラー指数が一番高い選手を順次選考する。

各階級の 2 位でも選考が余る場合は、順次順位を繰り下げる。

同じ階級に出場できる選手数は 2 名である。